

レプリケーション説明

Ichiro Sakurai, Taichi Uezono

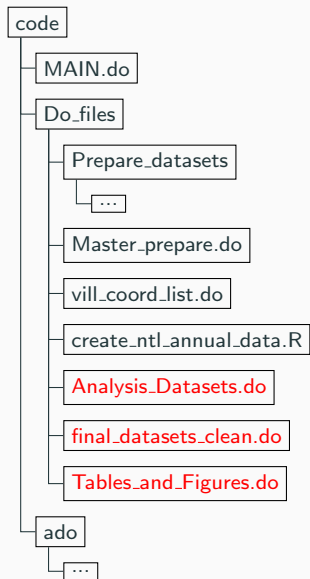
August 27, 2024

- 櫻井一郎
 - Email: sakuraiichiro@g.ecc.utokyo.ac.jp
- 上園太一
 - Email: uezonotaichi@g.ecc.utokyo.ac.jp

まずやること

- github にレポジトリを作って clone
- レプリケーションパッケージのダウンロード
- その他もろもろの設定？

ディレクトリ構成



- Rでレプリケーションしてもらう（予定）のもの
 - Analysis_datasets.do
 - final_datasets_clean.do
 - Tables_and_Figures.do
- それ以外は先に回してもらう必要がある
- また、データが足りない部分がある、、

準備

1. MAIN.do の path を書き換える
2. MAIN.do の vill_coord_list.do まで回す
3. key.txt を用意し、path を書き換えてから create_ntl_annual_data.R を回す
4. Analysis_datasets.do を確認しながら、NER_admbnda_adm0_IGNN_20230720.shp を data フォルダに入れる

作業

1. Analysis_datasets.do、final_datasets_clean.do を R に書き換える
 - （終わらなさそうだったら飛ばして次へ）
2. Tables_and_Figures.do を R に書き換える
3. それでも時間が余ったら
 - Master_prepare.do で使われている Prepare_datasets の中身など、他を扱う
 - さらなる分析を行う（e.g. データが恣意的に落とされていないか）

- 最後に発表があるらしいので、それを踏まえるとかなり時間がないように思える
- でも、どこまで進んだか等はたぶんそこまで重要ではない？
 - 結局はレプリケーションなので
- レプリケーション、アンサンブルプログラミングを経て経験した気づき等の方がたぶん重要？
- chatgpt, gemini, perplexity の仕様をお勧めします